

## Web応接の道を模索してきた2007年

2007年も間もなく終わりですが、皆様におかれましてどのような1年でしたでしょうか。

FDJ社では今年1年、“不動産サイト応接のあり方”について、勉強してまいりましたが、その成果が11月になって、一冊の本『不動産サイト応接の心得帳』となり、「FDJ社 / 浅見編集長書房」から発売されました。

この著作は、不動産ライターの村上 Yukiさんが、本誌に連載した「村上Yuki が行く / 私の不動産Web 2.0体験記」をアレンジしたのですが、私たちが置かれていた2007年の状況が大変によくまとまっていますので、PRではなく本書から4つの応接術の心得を紹介させて頂くことで、今年最後の「巻頭言 / そこが知りたい」にさせて頂けますでしょうか。

〔心得帳1 / 動画プレゼンテーションの導入と展開方法〕さながらに物件案内 / 始まった動画時代の姿を見ておく！

不動産でもWebアーキテクチャー（設計思想と運営哲学）のパラダイム転換はますます急速化し、爆発するソーシャルメディアの中で発想もこれまで無かった新しいものになってくるでしょうから、今後の動画・Movieの新展開は目が離せないテーマになってくるでしょう。

〔心得帳2 / どんどん広がる携帯ワールドの最新航海術〕新登場 / Web人間（A子さん）の仮体験・携帯生活を見ておく！

携帯はすでに日常生活のプラットフォームとなり、無視できない“営業”窓口になってきていますから、不動産業界でも携帯ユーザーの新動向を捉えておき、今後の対応を考えておく必要があるのではないのでしょうか。

〔心得帳3 / 不動産業界も注目の「口コミ」サイトを検証〕家探し主婦の立場から、「口コミ」サイトを散歩してみました！

Web2.0のキーワードであるみんなで作っていくコンテンツ（CGM） 不動産にも口コミサイトの影響は及ぶのか、と問われた時に半年前（2006年）だったら否定的！でした。

しかし、今（2007年）はマンションの新規購入では、すでに「口コミ」に代表されるブログ・掲示板・SNS・Q&AサイトなどのCGMを4人に1人が利用（リクルート / 住宅総研調べ）と言われる状況に……。不動産業界でも関心が高まってきた爆発寸前の「口コミ」について検証、考察してみました。「口コミ」はどうやって作られているのでしょうか。そして、活用方法は？

〔心得帳4 / 先取り戦術！ソーシャルメディアへの対応〕どんどん進化する家探しユーザーのネット生活を読んでおく

変わり始めた家探しユーザーの豊かなネット生活！ 検索（アクセス）の流れも180°逆流へ。ネットからは、どんな人がどんな風にあなたの店舗にやってくるのでしょうか？

さらなる変革 / 今後10年以上は続く一大ムーブメント＝爆発するソーシャルメディア（みんなで創るWebコミュニティ）の中で、サイトへの入り口が分散化・ロングテール化していくお客様には、こころを込めた快適なWeb応接で、あなたのサポーター / 「私はここにいますよ！」と手を振ってみましょう。

2008年がいっそう飛躍の年でありますように！ 今年1年のご愛読大変にありがとうございました。